



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月2日

上場会社名 東り株式会社

上場取引所 東

コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 荒木 陽三

TEL 06-6494-6691

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	42,754	6.3	68		17		67	
2022年3月期第2四半期	40,225	4.8	263		34		3	

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 23百万円 (82.4%) 2022年3月期第2四半期 131百万円 (764.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	1.13	
2022年3月期第2四半期	0.05	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	78,152	37,790	48.0
2022年3月期	79,982	38,285	47.5

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 37,527百万円 2022年3月期 38,013百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		8.00	8.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,500	6.8	1,850	110.7	2,000	60.7	1,200	66.6	19.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	66,829,249 株	2022年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	6,642,980 株	2022年3月期	6,494,889 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	60,207,572 株	2022年3月期2Q	61,187,046 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日常生活が段階的に正常化に向かう中、個人消費の持ち直しが見られたものの、地政学リスクの高まりによるサプライチェーンの混乱や急激な円安の進行によりインフレ懸念が高まるなど、景気の先行きは不透明感が増しております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、非住宅投資で回復の動きが続くものの、原材料調達環境の悪化に伴い各種建築資材の供給不安が増幅し、不安定な事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは長期ビジョン<TOLI VISION 2030>の実現に向けた中期経営計画『SHINKA Plus ONE』において、A. コア事業の強靱化、B. 伸びしろ事業の成長拡大、C. 第5事業の創造、D. グループ横断機能の強化、E. 成長を支える経営基盤の構築、の5つの重点戦略を推進しております。当期においては、昨年来の数次にわたる原材料コストの上昇に対応すべく、タイルカーペット用ナイロン原糸の内製化やリサイクル原材料使用比率の向上をはじめとした製造原価低減に注力すると共に、5月の第2次、9月には第3次となる販売価格改定（※第1次販売価格改定は昨年秋に実施）を打ち出し、収益改善に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高42,754百万円（前年同期比6.3%増）、営業損失68百万円（前年同期 営業損失263百万円）、経常利益17百万円（前年同期 経常損失34百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失67百万円（前年同期 同四半期純損失3百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

#### <プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、4月～7月にかけて発売の新商品を中心とした販促活動に注力したことに加え、販売価格の改定が浸透したことにより売上高は伸長しました。利益面では、様々な製造原価低減への取り組みが進んだものの、依然として原材料価格は上昇を続けており、後追いの価格転嫁による収益改善は一定程度にとどまりました。

ビニル系床材では、7月にビニル床タイルのリブランディングで新たな価値を提案した「タイルコレクション」を発売し、主力商品の「ロイヤルシリーズ」の刷新に加え、当社独自の技術を生かした単層ビニル床タイル「LCT (Luxury Calcium carbonate Tile)」・「VCT (Vinyl Composition Tile)」シリーズの販促活動に注力いたしました。また、ビニル床タイルとセラミックタイルの長所を兼ね備えた新・第3の床材「タフテックタイル」が2022年度グッドデザイン賞を受賞するなど、ビニル系床材は好調に推移しました。

カーペットでは、オフィス環境改善ニーズの高まりを背景に、6月に発売した「TOLI完全循環型リサイクルシステム」による環境配慮型タイルカーペット「GA-3600 サスティバック」を中心に販促活動に注力いたしました。タイルカーペット全体の販売数量は弱含みで推移しましたが、販売価格改定効果により売上高は前年を上回る結果となりました。

壁装材では、7月発売の抗ウイルス壁紙を収録した汎用タイプビニル壁紙「VS」、及び昨年改磨のデザイン性と機能性が特徴の「パワー1000」が好調に推移したことに加え、壁装材全体の販売価格改定の浸透が進み、前年を大きく上回る結果となりました。カーテンは、健やかなくらしを支える医療・福祉施設等各種施設向け「コントラクトカーテン」が堅調に推移しました。

これらの結果、プロダクト事業では、売上高は26,012百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント損失は137百万円（前年同期 セグメント損失19百万円）となりました。

#### <インテリア卸及び工事業>

インテリア卸事業及び工事業では、インテリア関連商材の仕入れコストが上昇しましたが、販売価格への転嫁に加え、地域に密着したきめ細かいサービスの向上に努めたことにより、事業全体は順調に推移しました。また、東璃（上海）貿易有限公司では、ゼロコロナ政策による中国国内経済の停滞も見られましたが、同社の第2四半期累計期間（2022年1月～6月）の業績に対するその影響は軽微であり、回復基調が続いております。

これらの結果、インテリア卸及び工事業の売上高は27,967百万円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益は347百万円（前年同期比113.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態

## &lt;資産&gt;

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,261百万円減少し、44,578百万円となりました。これは主に、売上債権の回収等に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ431百万円増加し、33,573百万円となりました。これは主に、製造子会社の設備投資に伴う建設仮勘定の増加によるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,830百万円減少し、78,152百万円となりました。

## &lt;負債&gt;

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,228百万円減少し、28,125百万円となりました。これは主に、仕入債務の支払等に伴う支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ107百万円減少し、12,236百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,335百万円減少し、40,361百万円となりました。

## &lt;純資産&gt;

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ494百万円減少し、37,790百万円となりました。これは主に、配当金の支払等により利益剰余金が減少したためです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ585百万円減少し、9,604百万円（前第2四半期連結累計期間11,169百万円）となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,453百万円の収入（前年同期3,050百万円の収入）となりました。売上債権及び棚卸資産の増減額の減少等により、前年同期に比べ収入が減少しております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,488百万円の支出（前年同期1,471百万円の支出）となりました。前年同期に比べ、有形固定資産の取得による支出等が減少しましたが、無形固定資産の取得による支出等の増加があったため、結果として前年同期と同水準の支出となっております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、585百万円の支出（前年同期692百万円の支出）となりました。その他に含まれる長期末払金の支払による支出の減少等により、前年同期に比べ支出が減少しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2022年10月24日公表の業績予想数値から変更はありません。

なお、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,341	9,768
受取手形及び売掛金	18,899	15,315
電子記録債権	5,505	5,221
商品及び製品	7,722	9,022
仕掛品	1,328	1,714
原材料及び貯蔵品	1,800	2,299
その他	1,280	1,271
貸倒引当金	△38	△34
流動資産合計	46,839	44,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,296	7,172
機械装置及び運搬具（純額）	3,607	3,384
工具、器具及び備品（純額）	361	337
土地	8,371	8,371
建設仮勘定	2,382	3,345
その他（純額）	97	87
有形固定資産合計	22,116	22,698
無形固定資産		
ソフトウェア	821	654
その他	167	285
無形固定資産合計	989	939
投資その他の資産		
投資有価証券	4,705	4,416
繰延税金資産	959	1,112
その他	4,839	4,906
貸倒引当金	△467	△500
投資その他の資産合計	10,036	9,935
固定資産合計	33,142	33,573
資産合計	79,982	78,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,583	16,728
電子記録債務	5,493	5,291
短期借入金	920	1,020
未払法人税等	382	243
未払費用	1,644	1,508
賞与引当金	651	660
その他	2,677	2,672
流動負債合計	29,353	28,125
固定負債		
長期借入金	5,780	5,680
退職給付に係る負債	3,820	3,896
訴訟損失引当金	76	—
その他	2,666	2,659
固定負債合計	12,343	12,236
負債合計	41,697	40,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	24,231	23,680
自己株式	△1,467	△1,500
株主資本合計	36,045	35,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,702	1,505
為替換算調整勘定	176	477
退職給付に係る調整累計額	88	83
その他の包括利益累計額合計	1,968	2,065
非支配株主持分	271	263
純資産合計	38,285	37,790
負債純資産合計	79,982	78,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	40,225	42,754
売上原価	29,195	31,112
売上総利益	11,029	11,641
販売費及び一般管理費	11,292	11,710
営業損失(△)	△263	△68
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	85	93
仕入割引	37	37
保険配当金	40	43
その他	156	121
営業外収益合計	321	297
営業外費用		
支払利息	30	31
持分法による投資損失	36	162
その他	26	17
営業外費用合計	93	211
経常利益又は経常損失(△)	△34	17
特別利益		
固定資産売却益	81	—
投資有価証券売却益	48	15
特別利益合計	129	15
特別損失		
固定資産除却損	9	10
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	12	10
税金等調整前四半期純利益	83	23
法人税、住民税及び事業税	156	158
法人税等調整額	△82	△60
法人税等合計	74	98
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8	△74
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12	△6
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△67



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8	△74
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△197
為替換算調整勘定	84	300
退職給付に係る調整額	1	△5
その他の包括利益合計	122	97
四半期包括利益	131	23
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119	29
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	83	23
減価償却費	990	1,083
固定資産除却損	9	10
固定資産売却損益 (△は益)	△81	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△48	△15
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22	28
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	82	69
受取利息及び受取配当金	△87	△94
助成金収入	△20	△37
支払利息	30	31
売上債権の増減額 (△は増加)	4,927	3,635
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,078	△2,175
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,377	△1,077
その他	△326	153
小計	3,085	1,634
利息及び配当金の受取額	87	94
助成金の受取額	20	37
利息の支払額	△30	△32
法人税等の支払額	△111	△280
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,050	1,453
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,633	△1,315
有形固定資産の売却による収入	135	—
無形固定資産の取得による支出	△63	△195
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	91	21
貸付けによる支出	△6	△6
貸付金の回収による収入	6	9
その他	4	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,471	△1,488
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,430	800
長期借入金返済による支出	△1,405	△800
配当金の支払額	△489	△482
その他	△228	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△692	△585
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	900	△585
現金及び現金同等物の期首残高	10,268	10,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,169	9,604

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,618	26,606	40,225	—	40,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,300	106	10,407	△10,407	—
計	23,919	26,712	50,632	△10,407	40,225
セグメント利益又は損失(△)	△19	162	143	△177	△34

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△177百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,911	27,843	42,754	—	42,754
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,101	124	11,225	△11,225	—
計	26,012	27,967	53,980	△11,225	42,754
セグメント利益又は損失(△)	△137	347	210	△192	17

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△192百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。